

# 高大連携授業 アンケート調査報告書 2019年度～2020年度比較

群馬医療福祉大学 IR室

## 2019年度

- 〈実施日時〉 令和元年（2019年）8月5日（月）～8月8日（木）  
〈会場〉 群馬医療福祉大学 3キャンパス（8/5、8/8 前橋、8/6 藤岡、8/7 本町）

## 2020年度

- 〈実施日時〉 令和2年（2020年）8月5日（水）～8月21日（金）  
コロナウィルス感染防止のため YOUTUBE による映像配信にて実施

### 1 参加者について

（1）参加者総数 ※アンケート回収数ではなく、参加者総数（一部欠席の者もカウント）

	高校生	在学生	合計
2019年度	140	28	168
2020年度	199	3	202
前年度比	+59	-25	+57

#### ① 高校生参加者が前年度から約 1.4 倍に大幅増加

- 引き続き大幅に高校生の参加者が増加。一昨年度から導入された「高大連携型総合型選抜(旧 A0)入試」の導入が大きな要因とみられる。また例年までのように 5 日連続で大学へ足を運び講座に参加しなくても YOUTUBE による映像配信講座により受講できるため、県外の高校生が受講しやすくなったと考えられる。
- 参加者の希望別内訳は社会福祉専攻 15% 子ども専攻 6% 看護学部 39% 理学療法専攻 21% 作業療法専攻 8% 医療福祉学科 7% その他 4%となっている。

### 2 アンケートについて

#### （1）アンケート概要

##### 1) アンケート回収数

※2020年度のアンケート回収はWEB上での回答のため回収率が低下したため、アンケートの実施方法について検討を要す。

	高校生	回答者数	回収率
2019年度	140	140	100%
2020年度	199	88	44%

全 8 問で構成 ※アンケート用紙は、付録 1 を参照

《質問のねらい》

- Q 1 参加動機（複数回答）
- Q 2、3 運営・進行面
- Q 4、5 授業自体の理解・満足度
- Q 6、7 参加の満足度・入学希望の度合い

Q 8 参加の満足度が高い授業の選択（上位3つまで）

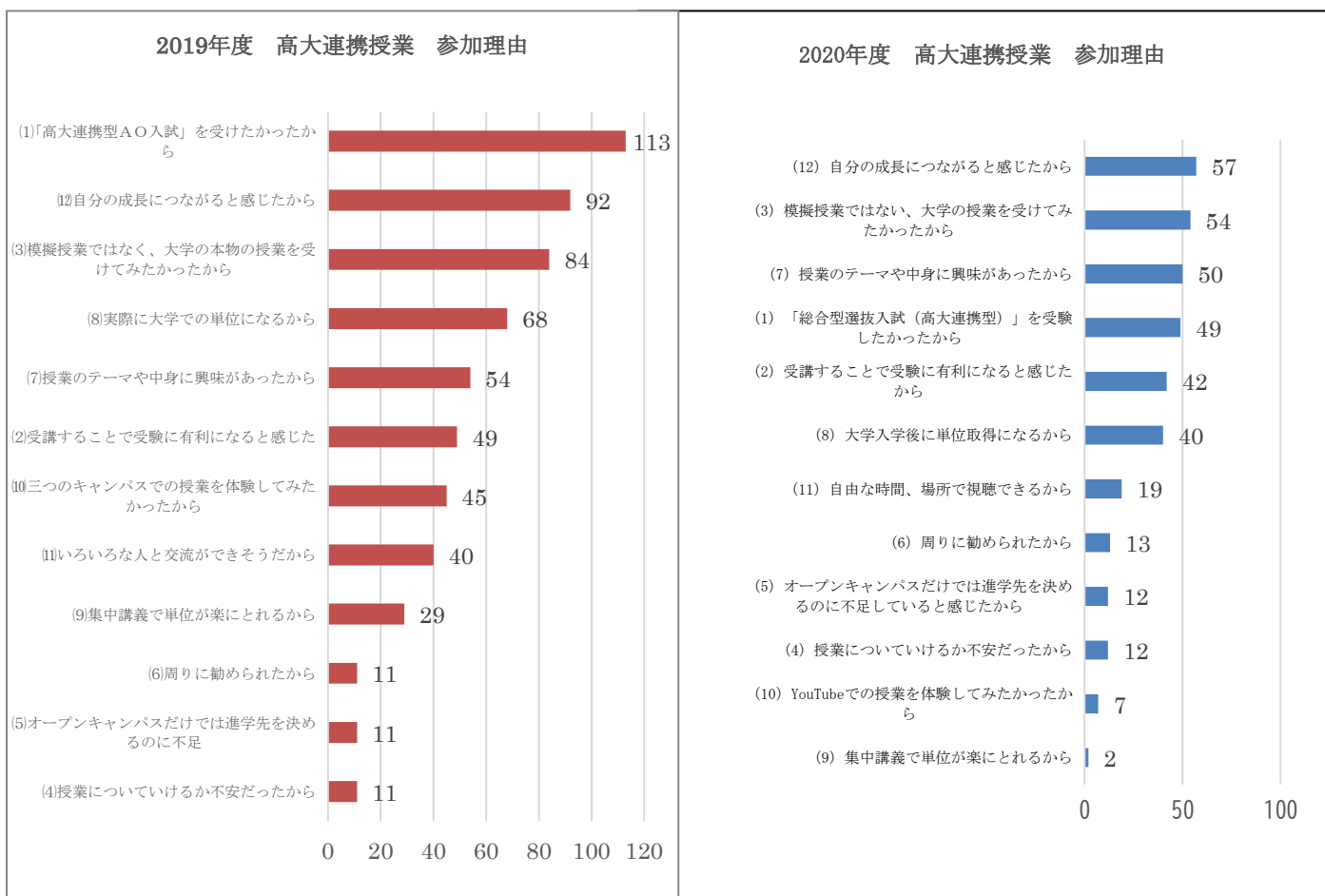
Q 9 YOUTUBE 配信に関する満足度

## 2) アンケート項目別分析

Q. 1 本学の高大連携授業に参加しようと思ったきっかけについて、当てはまるものの記号に○をつけてください

(複数回答可)

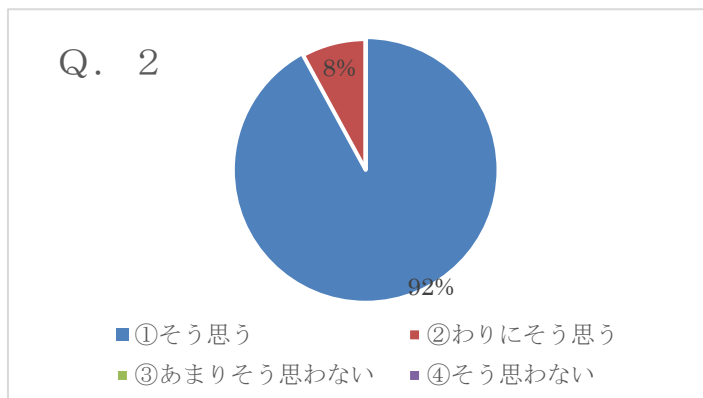
参加動機理由	2019年度 選択率（高校生140名の 選択率）	2020年度 選択率（高校生88名の 選択率）
(1)「高大連携型AO入試」を受けたかったから	80.7%	55.7%
(2)受講することで受験に有利になると感じた	35.0%	47.7%
(3)模擬授業ではなく、大学の本物の授業を付けてみたかったから	60.0%	61.4%
(4)授業についていけないか不安だったから	7.9%	13.6%
(5)オープンキャンパスだけでは進学先を決めるのに不足	7.9%	13.6%
(6)周りに勧められたから	7.9%	14.8%
(7)授業のテーマや中身に興味があったから	38.6%	56.8%
(8)実際に大学での単位になるから	48.6%	45.5%
(9)集中講義で単位が楽にとれるから	20.7%	2.3%
(10)三つのキャンパスでの授業を体験してみたかったから	32.1%	8.0%
(11)いろいろな人と交流ができそうだから	28.6%	21.6%
(12)自分の成長につながると感じたから	65.7%	64.8%



## 《分析》

- ・一昨年、昨年度は「高大連携型総合型選抜」の受験を前提とした参加が8割（80.7%）ともっとも多かったが、今年度は5割強（56%）にまで下がっている。ただし受験に有利になると感じたとの問いでは昨年度の35%から48%に上昇していることから、受験生が高大連携型選抜を中心とした受験のスタイルから、幅広く自分が一番実力を発揮できそうな入試区分を選択するようになったと考えられる。
- ・「授業についていけるか不安だったから」「オープンキャンパスだけでは進学先を決めるのに不足」の選択肢が昨年の7.9%から13.6%と増加している。また、「授業のテーマや中身に興味があったから」は38.6%から56.8%に増加し、「集中講義で単位が楽にとれるから」は20.7%から2.3%に大幅に減少している。このことから受講生がオープンキャンパスで提供される模擬授業だけでなく、より専門的な本講座を受講し、入学後に提供される授業内容を確認してから入学したいという意欲ある受験生が増えたことがわかる。
- ・昨年度同様、大学の「本物の授業を受けてみたい（61.4%）」または「自分の成長につながる（64.8%）」という期待が、大きな参加理由となっている。

## Q. 2 感染リスク回避のため、YOUTUBE で授業を配信したことはよかったですか。



※高校生のみ	人数	割合
④そう思う	81	92%
③わりにそう思う	7	8%
②あまりそう思わない	0	0%
①そう思わない	0	0%
無回答	0	0%
合計	88	100.0%

## 《分析》

- ・YOUTUBE 配信については、参加者の92%が良かったと思う、8%がわりに良かったと思うと回答しており、十分な満足が得られている。

## Q. 4 全体的に、授業はわかりやすかったですか。

	2019年度		2020年度	
	人数	割合	人数	割合
④そう思う	109	77.9%	72	81.8%
③わりにそう思う	29	20.7%	15	17.0%
②あまりそう思わない	1	0.7%	1	1.1%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%
無回答	1	0.7%	-	-
合計	140	100.0%	88	100%

## 《分析》

- ・授業については、昨年同様に98.9%がわかりやすかったと回答。この面では授業内容のレベルや教授法は適切だといえる。

Q. 5 全体的に、授業から知的な刺激を受けることができましたか

	2019 年度		2020 年度	
	人数	割合	人数	割合
④そう思う	130	92.9%	86	97.7%
③わりにそう思う	10	7.1%	2	2.3%
②あまりそう思わない	0	0.0%	0	0%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%
無回答	1	0.7%	-	-
合 計	140	100.0%	88	100%

《分析》

①昨年度に引き続き、100% 全員が知的な刺激を受けたという回答であった。

Q. 6 高大連携授業に参加してよかったと思いますか

	2019 年度		2020 年度	
	人数	割合	人数	割合
④そう思う	136	97.1%	86	98%
③わりにそう思う	4	2.9%	2	2%
②あまりそう思わない	0	0.0%	0	0%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%
無回答	0	0.7%	-	-
合 計	140	100.0%	88	100%

《分析》

① 昨年度に引き続き、100% 全員が参加してよかったという高い満足度であった。

Q. 7 本学に入学したい気持ちは高まりましたか

	2019 年度		2020 年度	
	人数	割合	人数	割合
④そう思う	131	93.6%	69	78.4%
③わりにそう思う	9	6.4%	19	21.6%
②あまりそう思わない	0	0.0%	0	0%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%
無回答	0	0.0%	-	-
合 計	140	100.0%	88	100%

《分析》

①高校生参加者は、全員が入学への動機が高まったと回答しており、この面での授業の意義は高い。しかし昨年度と比較すると「そう思う」と回答する受講生が93.6%から78.4%と減少した。YOUTUBEによる映像配信授

業だったため、ライブによる授業の雰囲気を感じることに、教員との関りや仲間づくりの希薄化、大学の施設設備を利用した授業ができなかったため、入学に向けての強い気持ちが例年と比較すると減少したと考えられる。

**Q. 8 参加をして良かったと思う授業について、上位三つまでを選び、記号で答えて下さい（※高校生のみ）**

**2019年度**

講座名	選択数	選択率 (114名全体の選択率)
⑤「高校生に看護職の魅力を伝える」	74	52.9%
⑧「ピア・カウンセリング入門」	52	37.1%
⑮「教師の専門性と指導技術」	42	30.0%
③「社会福祉の専門性とコミュニケーション」	33	23.6%
⑥「認知症高齢者の心をつかむコミュニケーション技法を学ぼう」	29	20.7%
⑦「健康な小児の成長発達」	28	20.0%

**《分析》2019年度**

- ① 30%以上の参加者に選択をされた科目は、看護（2）、教育（1）。4位の社会福祉の授業も含め、上位の科目はアイスブレイクの導入やグループでの活動、また先輩が参加をするなどのアクティブ・ラーニングの要素が取り入れられている。
- ② 作業療法、社会福祉、心理系科目などが低くなってしまったが、自由記述を見ると、「動かない授業」「一方的に聞く授業」になっていることが大きな要因と考えられる。今後も演習やグループワーク、探究的な内容など、動きや創造的な活動のある内容が求められる。
- ③ 医療系はある程度の選択率を保っているが、上位授業と比較すると、希望学科/コース外の参加者から選択されるように、アクティブな活動や多様な教材の提示など、工夫が求められる。
- ④ 昨年度と同様、参加者のうち多くは医療系志望だが、受講をしてよかった科目と希望学科やコースに強い関連があるというより、授業そのものの満足感が選択の決め手になっている。
- ⑤ 昨年度と同様、出願率と重ねると、授業の良しあしが出願に影響を与えることはない結論づけられる。

**2020年度**

講座名	選択数	選択率
⑤「感染の伝播を防ぐ知識や技術を学ぶ」	32	36%
⑦「こころの健康-ストレスと対処方法-	29	33%
⑨「ひとの体と臨床における理学療法の役割①」	24	27%
⑥「在宅看護の役割を学ぼう！ 看護の工夫をしてみよう！」	22	25%
⑩「ひとの体と臨床における理学療法の役割②」	21	24%
⑮「先生の指導テクニックを学ぼう」	21	24%

**《分析》2020年度**

※YOUTUBE 配信のためコメントなし。志願者に占める看護の割合が高いため当然といえる結果である

\*\*\*\*\*